

# 第3学年1組 音楽科学習指導案

日時 平成28年1月15日(金) 第5校時

在籍数 男子17名 女子16名

指導者 教諭 都木 雅之

1 題材名 我が国の伝統的な歌唱に親しもう ～長唄を通して～

2 題材について

(1) 生徒の実態

(2) 題材について

本題材では、長唄を扱う。教材の『飴売り』(長唄「雨の四季」より)は、リズムがよく唄いやすい曲である。この曲をとおして、無声音や鼻濁音などの日本語の特徴にも気付きながら、歌詞のもつ意味や旋律のおもしろさを味わわせることによって、長唄を親しむための基本的な事項を身に付け、音楽表現することにつなげていきたい。また、長唄「勧進帳」は、歌舞伎「勧進帳」の伴奏音楽として用いられている。歌舞伎「勧進帳」は、これまでも教科書に取り上げられており、源義経や武蔵坊弁慶などが登場する歌舞伎として、その物語は生徒にとって馴染みやすいものである。この歌舞伎で用いられている長唄の一部分を取り上げた歌唱表現に取り組ませることにより、長唄のもつ音楽的な特徴を感じ取らせたい。そして、歌舞伎における長唄の役割を場面に合った発声や唄い方を工夫して表現させるために、鑑賞との関連を図りながら興味・関心を持たせたいと考え、本題材を設定した。

(3) 学習指導要領との関連について

本題材は、我が国の伝統的な歌唱に着目し、学習指導要領のA表現(1)ア、A表現(1)イを指導するものとする。

### 3 題材の目標

- (1) 長唄の特徴に興味・関心をもち、長唄を唄う学習に主体的に取り組む。
- (2) 長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かしてどのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。
- (3) 長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現する。

### 4 教材について

- (1) 長唄「雨の四季」より 池田弥三郎作詞 山田抄太郎作曲  
 「備前の名産水蜜桃～おまけだおまけだ」の『飴売り』の部分  
 長唄の初心者にとっての教材として、明るい雰囲気を取り組みやすく、抑揚や音程差はあるが真似をしやすい曲である。また、歌詞がイメージしやすいので、飴売りの雰囲気を楽しみながら唄うことができると考え選曲した。
- (2) 長唄「勸進帳」歌舞伎「勸進帳」三世 並木五瓶 作詞 四世 杵屋六三郎 作曲  
 ア 長唄① 「旅の衣は篠懸の～露けき袖やしおるらん」の部分  
 謡いガカリの部分で、発声と言葉の特徴を主に聴き取り、最初に扱う教材としてに  
 適していると考え選曲した。
- イ 長唄② 「これやこの～山かくす」の部分  
 荷物持ちに変装した義経が、花道に登場する場面の音楽である。三味線とのかけ合いを味わうことができると考え選曲した。
- ウ 長唄③ 「時しも頃はきさらぎの～たち出でて」の部分  
 長唄「勸進帳」を物語として扱いたいと考え、選曲した。ただし、①②を重点的に行うため、この部分は音読で対応する。

### 5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連及び具体的な学習活動

指導事項	歌唱ア・・・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと 歌唱イ・・・曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと		
〔共通事項〕ア	音色	リズム	旋律
イ		拍 拍子 間	
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長唄に合った発声と基本的な姿勢に気を付けて唄う。</li> <li>・三味線の音色を感じ取りながら長唄を唱う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長唄や歌舞伎音楽の特徴的な拍や拍子を感じ取り、表現する。</li> <li>・長唄を唄ったり、鑑賞したりする活動を通して、長唄の間を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の伝統音楽の独特な音階を感じ取る。</li> <li>・長唄の言葉の抑揚や産字、節尻を感じ取り、表現する。</li> </ul>

### 6 題材の評価規準

	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
題材の	長唄の特徴に関心をもち、音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生	長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気	長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な

評価規準	み出す特質や雰囲気を感じながら、長唄を唄う学習に主体的に取り組もうとしている。	気を感じながら、発声や言葉の特性を生かすどのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫している。	発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現している。
1時	○		
2時		○	
3時			○
4時		○	○

### 7 指導と評価の計画（全4時間）

時	◆ねらい○学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
1	<p>◆長唄の発声や言葉の発音、身体の使い方などに関心を持ち、長唄に親しむ。</p> <p>○長唄の発声や言葉の発音、身体の使い方などに関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長唄「雨の四季」より『飴売り』を聴き、発声や唄い方、姿勢をどのようにすればよいのかを考える。</li> <li>・音声から気付くことを考える。</li> <li>・映像を視聴して気付くことを考える。</li> <li>・何度も音読し、慣れる。</li> <li>・口三味線と掛け声の練習をする。</li> <li>・三味線の伴奏に合わせて唄う。</li> </ul>	<p>○範唱を聴いてどのような歌い方で歌えばよいかを考えさせる。</p> <p>○長唄を唄う際のポイントを知らせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 腰を入れて、正座で唄う。</li> <li>2. モデル演奏のまねをする。</li> <li>3. 言葉を話すように唄う。</li> <li>4. 言葉のリズム、無声音、高低アクセントなどを意識して唄う。</li> </ol> <p>○無声音（ツ・キ・ヒ）に気を付けさせる</p> <p>☆長唄の特徴に関心を持ち、音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、長唄を唄う学習に主体的に取り組もうとしている。（関 行動観察・演奏聴取）</p>
2	<p>◆長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。</p> <p>○長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の見通しをもつ。</li> <li>・長唄「雨の四季」より『飴売り』を唄い、復習する。</li> <li>・全員で一回唄う。</li> <li>・唄う時に気を付けることを確認する。</li> <li>・歌舞伎における長唄の役割について知る。</li> </ul>	<p>○生徒の主体的な学びを促すために、本時の1時間の流れを生徒に示す。</p> <p>○前時の復習をさせ、長唄の発声や唄い方の特徴、姿勢等を確認しながら歌わせる。</p> <p>○口三味線と掛け声を入れ、三味線と唄の一体感を感じ取らせる。</p> <p>○長唄は、唄・三味線・囃子のチームプレーであることをおさえる。</p>

※公開  
(本時)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「旅の衣は篠懸の～」(長唄①)を聴き、声の音色の特徴について、どのような感じがするか考える。</li> <li>・音の高低や旋律の動き、産字、節尻などに着目してワークシートに書き込む。</li> <li>・作成したワークシートをもとに全体で唄う。</li> <li>・音が取れたところでもう一度模範演奏を聴き、さらに模倣しながら練習をする。</li> <li>・ペアで唄い合い、アドバイスをする。</li> <li>・「これやこの～」(長唄②)の範唱を聴き、音の高低、産字、節尻に着目して唄う。</li> <li>・唄いにくかったところや、難しかったところを話し合う。</li> <li>・自己評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長唄の特徴をつかむために模範演奏を聴かせる。(男声・女声の両方を聴かせる)</li> <li>○声の音色・声質に関して注目させる。</li> <li>○音のみの演奏を聴かせ、音程の高低や旋律の動きなど、拍に沿って歌詞を書いたワークシートに知覚・感受したことを記入させる。</li> <li>○「旅の衣は篠懸の～」の部分が発声と言葉の特徴に気を付けて唄わせる。</li> <li>○音程、節尻、息継ぎ、産字をおさえる。</li> <li>○教師の範唱だけでなく、模範演奏をもう一度聴かせ模倣させる。</li> <li>○「これやこの～」の部分音を音の高低や発声と言葉の特徴に気を付けて唄わせる。</li> <li>○デジタル教科書を活用し、範唱を聴かせる。</li> <li>○声の音色や節回しの特徴に注目させる。</li> <li>○三味線の伴奏と一緒に唄うには、どのように唄うとよいか、考えるきっかけにさせる。</li> <li>○自己評価を行い、活動を総合的に振り返らせる。</li> <li>☆長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫している。(創 ワークシート・演奏聴取)</li> </ul>
3	<p>◆長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現する。</li> <li>・「寄せの合方」のリズムの特徴を知覚・感受する。</li> <li>・「寄せの合方によるリズムアンサンブル」を練習する。</li> <li>・口三味線の練習をする。</li> <li>・大鼓、小鼓の唱歌を練習する。</li> <li>・「旅の衣は篠懸の～」(長唄①)の部分唄う。</li> <li>・「これやこの～」(長唄②)の部分唄う。</li> <li>・「寄せの合方」から「これやこの～」につなげて唄う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三味線・大鼓・小鼓のチームプレーを意識させて独特な雰囲気を感じ取らせる。</li> <li>○何度も練習し、慣れさせる。</li> <li>○音程、節尻、息継ぎ、産字を意識して唄わせる。</li> <li>○声の音色・声質と言葉の特徴に気を付けて唄わせる。</li> <li>○三味線との「ずれ」を、知覚・感受させる。</li> </ul>

		<p>○口三味線、唱歌を通して、三味線や囃子の雰囲気を感じ取り、長唄の雰囲気味わう。</p> <p>☆長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現している。</p> <p>(技 演奏聴取 行動観察)</p>
<p>4</p> <p>※非公開</p> <p>(撮影のみ)</p>	<p>◆歌舞伎「勧進帳」の中での長唄の役割を理解し、思いや意図をもって音楽表現するために必要な技能を身に付ける。</p> <p>○歌舞伎「勧進帳」の中での長唄の役割を理解し、思いや意図をもって音楽表現するために必要な技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎「勧進帳」の物語について知る。</li> <li>・今まで学習した部分を、長唄の演奏を中心にもう一度映像を鑑賞する。</li> <li>・物語の流れに沿って演奏する。</li> <li>・「旅の衣は篠懸の～」(長唄①)の部分を唄う。</li> <li>・「時しどころは如月の～」(長唄③)を音読する。</li> <li>・「寄せの合方」の口三味線・大鼓・小鼓の唱歌を唄う。(途中まで)</li> <li>・「これやこの～」(長唄②)の部分を唄う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくいかなかったところを整理する。</li> <li>・長唄のみの映像をみて、さらに表現を工夫する。</li> <li>・もう一度、物語に沿って演奏をする。</li> </ul> <p>○埼玉県に昔から伝わる歌舞伎があることを知る。(「小鹿野歌舞伎」の紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を記入し、日本の伝統音楽についてまとめる。</li> </ul>	<p>○歌舞伎「勧進帳」の物語を分かりやすく解説し、本時で扱う冒頭部分を特に理解させる。(ICTの活用)</p> <p>○実際に演奏している部分なので、どのような効果があるのかを意識させる。</p> <p>○音読し、歌詞の意味を知ること、この場面を理解させる。</p> <p>○音程、節尻、息継ぎ、産字や三味線との「ずれ」など、今まで学習したことができたか、確認させる。</p> <p>☆長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現している。</p> <p>(技 演奏聴取)</p> <p>○自分たちとの演奏と比較させ、歌舞伎の中の長唄の役割と効果について気付かせる。</p> <p>○場面を区切って鑑賞させ、長唄の役割や効果を理解させる。</p> <p>☆長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫している。(創 演奏聴取)</p> <p>○自分たちが暮らしている地域にも歌舞伎があることにふれる。</p>

## 8 学習指導について

(1) 授業実施日（公開）平成28年1月15日（金）第5校時（2／4校時）

### ア 本時の目標

長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。

### イ 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の見通しをもつ。</li> <li>・長唄「雨の四季」より『鉛売り』を唄い、復習する。</li> <li>・唄う時に気を付けることを確認する。</li> <li>・全員で一回唄う。</li> </ul> <p>○長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の主体的な学びを促すために、本時の1時間の流れを生徒に示す。</li> <li>○前時の復習をさせ、長唄の発声や唄い方の特徴、姿勢等を確認しながら歌わせる。</li> <li>○口三味線と掛け声を入れ、三味線と唄の一体感を感じ取らせる。</li> </ul>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">歌舞伎「勧進帳」の長唄に挑戦してみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎における長唄の役割について知る。</li> <li>・「旅の衣は篠懸の～」(長唄①)を聴き、声の音色の特徴について、どのような感じがするか考える。</li> <li>・音の高低や旋律の動き、産字、節尻などに着目してワークシートに書き込む。</li> <li>・作成したワークシートをもとに音読して、教師の範唱で全体で何度も唄う。</li> <li>・音が取れたところでもう一度模範演奏を聴き、さらに模倣しながら練習をする。</li> <li>・ペアで唄い合い、アドバイスをする。</li> <li>・「これやこの～」(長唄②)の範唱を聴き、音の高低、産字、節尻に着目して唄う。</li> <li>・唄いにくかったところや、難しかったところを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長唄は、唄・三味線・囃子のチームプレーであることをおさえる。</li> <li>○長唄の特徴をつかむために模範演奏を聴かせる。</li> <li>○声の音色・声質や唄い方に関して注目させる。</li> <li>○音のみの演奏を聴かせ、音程の高低や旋律の動きなど、拍に沿って歌詞を書いたワークシートに知覚・感受したことを記入させる。</li> <li>○「旅の衣は篠懸の～」の部分が発声と言葉の特徴に気を付けて唄わせる。</li> <li>○音程、節尻、息継ぎ、産字をおさえる。</li> <li>○教師の範唱だけでなく、模範演奏をもう一度聴かせ模倣させる。(男声・女声両方聴かせる)</li> <li>○デジタル教科書を活用し、範唱をきかせる。</li> <li>○「これやこの～」の部分の音の高低や発声と言葉の特徴に気を付けて唄わせる。</li> <li>○声の音色や節回しの特徴に注目させる。</li> <li>○三味線の伴奏と一緒に唄うには、どのように唄うとよいか、考えるきっかけにさせる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己評価を行い、活動を総合的に振り返らせる。</li> <li>☆長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫している。(創 ワークシート・演奏聴取)</li> </ul>
---	--

<p>「十分満足できる」(A) と判断される状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○長唄にふさわしい声を模倣しながら、気付いたことを声の音色や言葉の表現に生かそうとしている。</li> <li>○ペア活動で相手に音程、節尻、息継ぎ、産字などについて、具体的にアドバイスをしている。</li> </ul> <p>「努力を要する」(C) と判断される状況への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音程、節尻、息継ぎ、産字の中で、知覚・感受しやすいものを示し、1つでも多くのことに気付くことができるように支援する。</li> <li>○一緒に音読したり唄ったりしながら、自信をもって唄えるように支援する。</li> </ul>
---

#### ウ 板書計画

<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="225 994 956 1048"> <p>課題 歌舞伎「勧進帳」の長唄に挑戦してみよう！</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1061 523 1256"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の音色</li> <li>・どんな唄い方 (生徒の意見をまとめる)</li> </ul> </td> <td data-bbox="555 1070 965 1256"> <p>長唄①「旅の衣は～」の拡大譜</p> <p>産字 節尻</p> </td> </tr> </table>	<p>課題 歌舞伎「勧進帳」の長唄に挑戦してみよう！</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・声の音色</li> <li>・どんな唄い方 (生徒の意見をまとめる)</li> </ul>	<p>長唄①「旅の衣は～」の拡大譜</p> <p>産字 節尻</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1066 1003 1190 1048"> <p>大型TV</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1066 1070 1358 1223"> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 本時の学習の流れ</li> <li>② 長唄を唄う時     気を付けること</li> <li>③ 映像視聴</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>大型TV</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本時の学習の流れ</li> <li>② 長唄を唄う時     気を付けること</li> <li>③ 映像視聴</li> </ul>
<p>課題 歌舞伎「勧進帳」の長唄に挑戦してみよう！</p>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・声の音色</li> <li>・どんな唄い方 (生徒の意見をまとめる)</li> </ul>	<p>長唄①「旅の衣は～」の拡大譜</p> <p>産字 節尻</p>						
<p>大型TV</p>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本時の学習の流れ</li> <li>② 長唄を唄う時     気を付けること</li> <li>③ 映像視聴</li> </ul>							

(2) 授業実施日 (非公開) 平成28年1月25日(月) 第5校時 (4 / 4校時)

#### ア 本時の目標

- ・長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現する。
- ・長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の特性を生かしどのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。

#### イ 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の見通しをもつ。</li> </ul> <p>3年1組だけの長唄「勧進帳」を創り上げよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の主体的な学びを促すために、本時の1時間の流れを生徒に示す。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌舞伎「勧進帳」の中での長唄の役割を理解し、思いや意図をもって音楽表現するために必要な技能を身に付ける。</li> <li>・歌舞伎「勧進帳」の物語について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌舞伎「勧進帳」の物語を分かりやすく</li> </ul>

- ・今まで学習した部分を、長唄の演奏を中心にもう一度映像を鑑賞する。
- ・物語の流れに沿って演奏する。
- ・「旅の衣は篠懸の～」(長唄①)の部分を唄う。
- ・「時しどころは如月の～」(長唄③)を音読する。
- ・「寄せの合方」の口三味線・大鼓、小鼓の唱歌を唄う。(途中まで)
- ・「これやこの～」(長唄②)の部分を唄う。

- ・うまくいかなかったところを整理する。
- ・長唄のみの映像をみて、さらに表現を工夫する。

- ・もう一度、物語に沿って演奏をする。

- 埼玉県に昔から伝わる歌舞伎があることを知る。(「小鹿野歌舞伎」の紹介)
- ・感想を記入し、日本の伝統音楽についてまとめる。

解説し、本時扱う冒頭部分を特に理解させる。(ICTの活用)

- 実際に演奏している部分なので、どのような効果があるのかを意識させる。

- 音読することにより、どのような流れで物語が進んでいくのかも理解させる。

- 音程、節尻、息継ぎ、産字や三味線との「ずれ」など、今まで学習したことができたか、確認させる。

☆長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現している。

(技 演奏聴取)

- 自分たちとの演奏と比較させ、歌舞伎の中の長唄の役割と効果について気付かせる。

- 場面を区切って鑑賞させ、長唄の役割や効果を理解させる。

〈視点〉

「旅の衣は篠懸の～」(長唄①)

能楽の唄い方を取り入れた重々しい唄い方が特徴的である。

「時しどころは如月の～」(長唄③)

三味線の伴奏が入って盛り上げる。声の調子も変わる。「月の都を～」から斉唱になる。

「寄せの合方」

人物の登場を告げる間奏である。三味線と囃子の華やかさが特徴である。

「これやこの～」(長唄②)

荷物持ちに変装した義経が花道から登場する場面で、華やかな歌舞伎の雰囲気盛り上げる部分である。

☆長唄の音色、リズム、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、発声や言葉の特性を生かすどのように表現するかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫している。

(創 演奏聴取)

- 自分たちが暮らしている地域にも歌舞伎があることにふれる。

「十分満足できる」(A)と判断される状況

- 今まで学習してきた長唄の唄い方を理解して表現している。
- 各場面をよく理解し、どのような役割や効果があるのかという思いや意図をもって表現を工夫している。

「努力を要する」(C)と判断される状況への働きかけ

- 音程、節尻、息継ぎ、産字の中で、知覚・感受しやすいものを意識して、模倣するように支援する。
- どのような場面なのか分かりづらい場合は、もう一度その部分を繰り返し鑑賞し、理解できるように支援する。

#### ウ 板書計画

課題 3年1組だけの長唄「勸進帳」を創り上げよう！

長唄①「旅の衣は～」  
長唄②「これやこの～」  
長唄③「時しも頃はきさらぎの～」 拡大譜面  
寄席の合方

大型TV

- ① 本日の学習の流れ
- ② 「勸進帳」の物語について
- ③ 映像視聴